



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場体験・インターンシップの活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願いいたします。

第28号は、青少年奉仕から「青少年奉仕アンケート」、「職場体験・就業体験」の特集、

P.6～ インターアクトから「インターアクト地区合同活動」、「顧問教師からのご挨拶」、

P.8～ ローターアクトから「各クラブの活動報告」、

P.13～ 青少年交換から「地区大会への参加」などの掲載がございます。

また、P.5に青少年奉仕の基礎知識／第9回「職場体験・インターンシップ委員会の名称変更」の記事もございます。

## 1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告）

### ① 特集その1：「青少年奉仕アンケート」の集計概要

地区青少年奉仕委員会は、2017年10月30日から2018年1月29日まで青少年奉仕アンケートを実施しました。目的は、各クラブにおける青少年奉仕活動の活性化、あるいは青少年奉仕活動を始めるにあたっての具体的なヒントのご提供と、地区内のクラブ間の情報共有です。各クラブにおかれましては、当アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

以下に集計概要を掲載します。なお、当アンケートのデータはエクセル形式にて各クラブへ送信済みです。

・69クラブ中65クラブから回答をいただきました。94.2%の回答率です。なお、前年度は66クラブからの回答をいただきました。

・各クラブの青少年奉仕の具体的な活動は、インターアクトクラブ提唱、ローターアクトクラブ提唱、青少年交換留学生受入れ、中学生職場体験・高校生インターンシップの受入れが中心となっていますが、各クラブ独特の取り組みも多く報告され、青少年奉仕活動が活発化していることがわかりました。前年度54クラブに対し本年度52クラブでした。

・中学生職場体験・高校生インターンシップは、28クラブで実施されており、当地区の青少年奉仕活動の特色といえそうです。クラブというよりは会員各人（事業所ごと）における活動となっています。ただし、前年度は25クラブにて実施していたので増加しています。

・インターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは5クラブありました（前年度

のアンケートでは5クラブでした)。また、他クラブにて提唱しているインターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは19クラブです(前年度のアンケートでは13クラブでした)。

インターアクトクラブ提唱クラブは11クラブです。地区内の50%のクラブがインターアクトクラブを「提唱している」か、「提唱を検討している」か、「協力ができる」としています

- ・ローターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは9クラブありました(前年のアンケートでは7クラブでした)。また、他クラブにて提唱しているローターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは19クラブです。

ローターアクトクラブ提唱クラブは15クラブとなっています(本年度、新たな提唱が予定されています)。地区内の62%のクラブがローターアクトクラブを「提唱している」か、「提唱を検討している」か、「協力ができる」としています。

- ・中学生職場体験、高校生インターンシップの受入れを行っている場合についても質問を行いました(2016年4月から2018年3月まで)。回答によりますと、中学生の受入れが331名(前年度調査、214名)、高校生の受入れが233名(前年度調査、105名)となっています。中学生の受入れはクラブ所在の地域から行われています。多数受入れのクラブとしては、東京青梅98名、東京練馬中央79名、東京東久留米60名などです。また、高校生の受入れは、都立赤羽商業高校からが目立ちます。商業高校ということで、企業対応の担当者がいることが影響しているようです。多数受入れのクラブとしては、東京46名、東京東村山40名、那覇24名などです。受入れ事業者については、各クラブ1~3事業所というのが多くなっています。ただし、受入れ事業所の多いクラブは、東京東村山11事業所、コザ10事業所、東京浅草9事業所になっています。回答によると、増加傾向にあります。しかし、中学生職場体験、高校生インターンシップの受入れの把握ができていないクラブも多数ありました。上記の実数はより多いものと想定されます。

- ・全体的な印象としては、青少年奉仕活動が活発に行われているクラブが多数ある一方、会員数の減少や高齢化、旗振り役の不在から青少年奉仕活動が低調となっているクラブもあります。また、クラブ内における青少年奉仕活動の情報共有がうまくいっていないのではないかと推測される回答もあります(回答者である青少年奉仕委員長がクラブ内の青少年奉仕活動を把握していない。たとえば、職場体験を熱心に行っているクラブにも関わらず、回答者がそれを知らない)。クラブ内の情報共有、また担当委員長の引継ぎはクラブの円滑な運営のために重要なポイントになるのではないのでしょうか。

ローターアクトは、当地区にてその存在・意義・活動への理解が進んでいます。提唱となるとハードルがありますが、まずは近隣にて活動しているローターアクトクラブの例会に参加してみてもいかがでしょうか。また、地区青少年奉仕委員会の発行する「青少年奉仕情報/2018年1月号」の特集では、「ローターアクトクラブ提唱するとどうなる？」を特集しました。ロータリアン、ロータリークラブが活性化することがわかります。ご参考いただければと存じます。

職場体験、インターンシップは、クラブ単位ではなく、会員の事業所ごとに受入れができます。比較的期間も短く、予算も必要としないので、会員数の減少や高齢化に悩みつつ、青

少年奉仕活動にご興味のあるクラブにて、会員の事業所が受け入れをするための環境づくりをしてみたいかがでしょうか。

## ② 特集その2：職場体験・就業体験（インターンシップ）

### (1) 市河地区職場体験・インターンシップ委員長より委員会の活動概要

当委員会は、職場体験事業と就業体験事業に関わる活動を行っており、原則として職場体験の対象は中学生、就業体験（インターンシップ）の対象は高校生としております。東京と沖縄分区では大きく事情が異なっており、沖縄はクラブ毎に独自の取り組みをされていますが、東京の場合は、両事業ともに東京都と連携した事業です。本事業はロータリーの公共イメージのアップにもダウンにも直接つながる重要な事業です。

中学生の職場体験は、東京都が掲げる「こころの東京革命」の一環として、「社会の一員としての自覚を促し、社会性や望ましい勤労観・職業観を身につけさせる」ことを目的として東京都が推進している事業です。この事業のために都庁外の団体等による「推進協議会」が設置され、国際ロータリー第2580地区は民間団体の一員としてその委員となっております。現在公立中学校の職場体験実施率は100%であり、毎年約80,000人弱の中学生が参加しておりますが、受入事業所の不足が課題となっております。

高校生の就業体験は、毎年ガバナーが東京都教育委員会と「インターンシップ事業に関する基本協定書」を取り交わし、年度により組織編成等は異なるものの、ガバナーに委嘱された委員により丸10年間取り組まれてきた事業です。教育委員会、参加を希望される都立高等学校等（主に実業系）と毎年事業連絡会を開催して、意見を交換しながら進めております。なお、当事業は雇用を前提としたものではなく、労働の対価も発生しませんが、「インターンシップ」という言葉は業界、業種によっては、異なる意味で捉えられることもあるようです。少しでも多くの事業所に安心して受入登録をしていただけるよう、また申し込みをする側と受ける側の齟齬による混乱を避けるため、現在は「インターンシップ」を「就業体験」に置き換えて使用することにしており、次年度は当委員会の名称も、「地区職場・就業体験委員会」に改称されます。

来る6月1日午後に、東京都主催による10周年記念イベントが企画されております。これは、東京都から当地区に対する謝意を表明したいという趣旨と、併せて今後の当事業の拡大と充実を期して開催されるもので、ガバナーやガバナーエレクトも出席される予定となっております。新旧の青少年奉仕委員長、受入事業所を提供されるロータリアン等に、数多くご参加いただきたく、詳細が決まりましたら改めてご案内させていただく予定です。

地区のホームページに「中学生の職場体験」「高校生の就業体験」のバナーがあり、そこから受入事業所のリストが閲覧できます。中学生や高校生の申込希望者は、同ホームページから申込書をダウンロードし、原則として各事業所にファックスで申込みする、ということになっております。事業所の登録（新規、変更、削除）をするときは、地区ホームページのダウンロードライブラリーから登録用紙を取得し、ガバナー事務所に送ることで容易に行えます。

現在、当委員会は受入事業所の登録増加と受入内容充実のため、啓蒙と情報提供を中心に

活動しております。具体的には各クラブに対し、年 2 回の受入事業所の登録推進要請、東京都の職場体験発表会及び文京区教育委員会と東京本郷ロータリークラブ共催の職場体験発表会のご案内、アンケート実施、卓話訪問、受入体験談の収集、などです。

次代を担う中高校生の健全教育のためには、学校と家庭、そして社会の三者が連携することが重要であると言われております。職場体験・就業体験事業は、まさに社会教育に直接関わる事業であり、単に「青少年奉仕」であるだけでなく、地域の要請に応える「社会奉仕」と、それを自らの職場で行う「職業奉仕」を同時に実現できる、我々ロータリアンにとって素晴らしい事業であると考えます。

当委員会は今後も、多くの会員にご参加いただけるよう、尽力して参ります。

## (2) 加古地区青少年奉仕委員（東京池袋ロータリークラブ）より職場体験等の報告

この 10 年来、私の会社では、中学生の職場体験と高校生のインターンシップを受け入れてきました。工事現場の無線機や建設機械を遠隔操作する機械などを取り扱っています。受入れの経緯は、所属している法人会との共同事業からです。中学生の職場体験の受入れからスタートしました。当初は税務教育をしていましたが、会社への受入れを始めてみて気付きがありました。会社の事業概要や商取引の説明を中学生にわかりやすく説明する必要があります。たとえば、掛売りのことを丁寧に説明します。約束手形を見てもらったりします。男子中学生は、機械の出荷をしてもらいます。女子中学生は、事務作業です。学校によって受け入れ期間が異なります。最近では 2～3 日が多くなっています。事業所が受入れてメリットは何でしょうか？。社員の研修になります。中学生に仕事を教えるのは難しいことです。自身が仕事をしっかり理解していないとできません。社員からは受入れで苦労しているという感想をもらっています。プレッシャーにもなっているようです。だからこそ、社員研修としての意味があります。最近の中学生のイメージは、真面目で、挨拶もちゃんとできる感じですね。とはいえ、中学生にとり仕事は縁遠いものです。手取り足取りしないと理解できません。第 2580 地区のサイトに登録していることから、高校生も受入れていています。小石川、赤羽商業、第 4 商業からです。2017 年 10 月、都立新島高校から女子 1 名を受け入れました。受入れ前に、担当の先生に会社まで訪問いただきました。離島の高校生ですので、1 週間、東京に滞在となります。そのうちの 2 日間をインターンシップにあてます。このほか、電車の乗り方などのレクチャーを行います。法人会から中学生を年間平均 4～5 校受け入れています。受入れて良かったことは達成感です。受け入れた生徒の父母からの手紙をいただくことがあります。あるお母さんからは、「中学生ですので、当初、事務作業のイメージができませんでした。かなり不安だったようです。しかし、受け入れていただいて、不安はすぐに消え、楽しく取り込むことができました。お忙しい中、たいへん感謝申し上げます」というお手紙をいただきました。苦労のし甲斐がありました。中学校、高校では、受入れ事業所探しにたいへん苦労されています。ロータリアン、また、そのご友人にぜひご協力をいただきたいです。

### (3) 東京本郷ロータリークラブの「感謝状の受領」と「文京区中学生職場体験報告会の開催」

東京本郷ロータリークラブは、中学生の職場体験の受入れに力を注がれています。1月19日、東京都と東京都教育委員会主催の「平成29年度わく(Work)わく(Work)Week Tokyo (中学生の職場体験)発表会」(会場:四谷区民ホール)にて、功勞事業者として感謝状を授与されました。この発表会は中学生の職場体験の質量ともの充実を図るために年1回開催されており、この事業を理解する上でたいへん有益なものです。



また、2月2日、文京区教育委員会主催、東京本郷ロータリークラブ共催の「文京区中学生職場体験報告会」(会場:文京シビックセンター)が開催されました。文京区内の3つの公立中学校の生徒が職場体験の報告を行いました。スターバックス、護国寺、マクドナルドなどで職場体験をしました。また、東京本郷ロータリークラブの会員をコーディネーターとして、中学生による意見交換も行われました。内容は、①何を学んだか?、②コミュニケーションからの気付き、③変化した点、④受入れ事業所への感想などでした。「好きなジャンルの仕事でも楽しいばかりではない」、「お金もらうために仕方なく仕事していると思っていたが、仕事が楽しいことを知る」、「自分、家族のためだけでなく、地域のためにも仕事をしていることに、やりがいを感じる」などの意見がありました。



#### **連載! 青少年奉仕の基礎知識/第9回「職場体験・インターンシップ委員会の名称変更」**

青少年奉仕情報第26号(2017年11月20日発行)の小欄「青少年奉仕の基礎知識」では、職場体験とインターンシップの違いをご説明しました。その中で「(インターンシップを)当地区の東京北部では、雇用を前提とした試用とは捉えていません」との記述があります。インターンシップが雇用を前提とした試用と捉える考え方を否定する意図は全くありません。業種や地域によっては、むしろ、インターンシップ=雇用を前提とした試用という考え方のほうが浸透している場合もあると聞き及んでおります。担当委員会では、受け入れ意志をお持ちの事業者からインターンシップ後の雇用の必要性の有無を問われればきちんとご回答するよう努めていますが、インターンシップという字面だけで事業者が受け入れを敬遠することが仮にあるとすれば、それは事業者にとっても学生にとっても私たちロータリアンにとっても一つの機会損失であり、その誤解の恐れが少しでもあるのなら、何かしら対応すべきとの考えに至りました。検討の結果、今後はインターンシップという語の使用は極力避け、より齟齬が起りにくいと思われる「就業体験」という語を用いることになりました。また、2018-19年度は、委員会の名称が「地区職場・就業体験委員会」に変更されます。名称が変更されることにより、担当委員会の活動の趣旨がより正確に事業者・学校・学生に伝わることを期待しますが、活動内容が変わるわけではありません。引き続き、ご理解とご協力を切にお願いします。

## 2. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木地区インターアクト委員長より）

### ① インターアクトクラブ地区合同活動・ロータリーファミリー交流会・地区合同表彰式

2月18日(日)、日本大学第一高等学校においてインターアクトクラブ地区合同活動・ロータリーファミリー交流会・地区合同表彰式が開催されました。従来から行われている地区合同表彰式に地区合同活動とロータリーファミリー交流会を合わせることになりました。



午前中は北豊島学園インターアクトクラブがホストによる地区合同活動で、ローターアクターにお願いして「気仙沼仕事創出プロジェクト」（気仙沼と東京のローターアクター有志による気仙沼の水産加工品の東京圏への販路開拓とこれができる人材の育成を事業とするグループ）についての講演でした。その後、各インターアクトクラブが混ざるようにグループに分かれローターアクター・ローテックスと共に気仙沼の水産食料品のプレゼンテーションを体験するワークショップでした。ワークショップの題材は、マルトヨ食品さんの「さんまくん」（さんまの燻製）とマルヤマさんの「なまり節」でした。意見としては、「さんまくんは高校生が帰宅してすぐに食べることができて便利。ただし、高校生向けのパッケージにはなっていない。「天皇杯」受賞をもっと前面に出すべきでは?」、「なまり節は保存期間も長くて、主婦に便利。ヘルシーであること、国産であることをもっとPRすべき。また、インバウンド向けになるのではないかなどでした。また、「さんまくんを使ったジャム、パイを作れないか?」、「さんまくんを使ったザクザクした食感のスナック菓子「さまっち」を作れないか?」という提案もありました。高校生の若者らしいアイデアがたくさん発表され内容の濃いものとなりました。

午後からはインターアクト・ローターアクト・ローテックスによるそれぞれの団体の活動内容の発表会を開催しました。普段あまり顔を合わすことがない各々のロータリーファミリーの意義や活動を知る良い機会となりました。ローターアクトからは卒業後はローターアクトへの入会要請の説明があり、今後はローターアクトにインターアクトの卒業生が増えると確信しました。

この日、最後の企画はインターアクトの卒業生の表彰式でした。本年度の在京のインターアクトの卒業生は22名でそのうちの3名を優秀インターアクターとして表彰しました。各インターアクトクラブの卒業生はお世話になった提唱クラブのロータリアンから表彰いただき

ました。インターアクトは学校の部活動として活動しています。高校生活の3年間が経過すると同時にインターアクトも卒業しなければなりません。会員増強は容易ではありませんが、1、2年生には優秀なインターアクターが多くいます。今後の活躍と活動にもご期待ください。

## ② 特別寄稿「インターアクトと共に42年」

(日本大学第一高等学校インターアクトクラブ顧問 浦澤孝俊先生)

編集担当より：浦澤先生はインターアクトクラブの顧問を42年間務められました。この3月にて教員を定年退職されます。

顧問歴42年。私の教員としての日々はインターアクトクラブと共に在りました。この部活動に携わり多くの経験をさせていただき、またロータリークラブのご支援の下、生徒達との活動から幾つもの達成感も得ました。これらは、私にとって「一生の宝物」であります。

1976年にインターアクトクラブの顧問となり、ふと気が付けば、早42年の歳月が流れておりました。その間、インターアクター達に、ボランティアする者の世界観「社会とか世界というものは、様々な人々が相互に依存した関係性の中に存在しているのだということ」と一歩踏み出す勇気「優しさは行動に移してこそ変化が起こるのだということ」を説き続けることが私の役割でした。この部活動から多くの心ある人材が育ってくれたと思います。

創設後約50年の節目で、過渡期を迎えつつあったインターアクトクラブ。2010年のロータリー規定審議会で、第5部門「青少年奉仕」(当時は「新世代奉仕」)が新たに加わり、インターアクトクラブをはじめとする青少年奉仕プログラムの推進が強調されました。これにより、地区内にゆっくりではありますが着実にインターアクト活動への理解が広がっていると認識しております。

ロータリアンの積極的な青少年への関わり、活動の支援と育成。それを軸に、青少年達の周りに影響の環を広げることの大切さを再認識いただき、インターアクトクラブに対する創設当時の情熱が、ロータリークラブの中に再燃することを期待するものであります。

終わりに、鈴木祥太地区インターアクト委員長は、私の教え子であり、インターアクトクラブのOBでもあります。彼の所属する東京ワセダロータリークラブのメンバーの方々ともお会いする機会がありましたが、会員皆様の青少年奉仕、とりわけインターアクト活動への理解を感じました。ロータリアンの皆様のご理解と、ご支援の下、この39歳の若きリーダーに今後のインターアクト活動の舵取りを託し、心から期待したいと思います。



### 3. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

#### ① 東京東ローターアクトクラブ

「インターアクト表彰式」

日時：2018年2月18日

会場：日本大学第一高等学校

内容：

厳密には例会ではありませんでしたが、今年、東京東ローターアクトクラブが頑張った出来事の一つとっても過言ではありません。「インターアクト表彰式」について紹介します。

2017-2018年度、東京東ローターアクトクラブ

は会員数の減少に悩まされていました。会員増強のために幾度か努力を重ねてみましたがなかなか上手くいきません。2月18日にインターアクトの表彰式があるからそこで高校三年生の生徒をローターアクトに勧誘してみてもと助言をいただき、私たちは母校でもある日本大学第一高等学校のインターアクト部顧問の先生の協力の下、幹事の河村がインターアクト部のみなさんの前でローターアクトクラブに関する講演を行わせていただきました。色々と至らない部分はありましたが、生徒の皆さんがローターアクトに興味を持ち、入りたいと思ってくれるきっかけとなって良かったです。もし機会があればまた来年も高校三年生の皆さんにローターアクトについて語る事ができたらと思っています。



おすすめ例会：

東京東ローターアクトクラブと東京ワセダローターアクトクラブの合同で4月14日に日本最大級の総合物流ターミナル「羽田クロノゲート」の見学を行います。

この見学コースでは5つのアトラクションを通じて、最新の物流を探検することができます。

【例会詳細】

日時：4月14日（土）

集合時間：14：30

集合場所：京浜急行空港線「穴守稲荷」駅

見学時間：15：00-16：30

見学場所：羽田クロノゲート（東京都大田区羽田旭町11-1）

\*見学の関係上、定員30名までとなります。

登録先：東京ワセダローターアクトクラブ 幹事 鈴木宏美 (a.cheer.romi@gmail.com)

#### ② 東京荒川ローターアクトクラブ

1月例会「ワイン例会」

日時：2018年1月21日

内容：



今回の例会では、東京荒川ロータリークラブの竹内様のご自宅にお邪魔させていただき、食事をしながら、ワインの基礎知識を勉強しました。ワインに詳しいハル会員にワインのスタイルやタイプ、そしてワインの味に影響する要因などの卓話をしていただき、それを理解した上でワインをいただきました。ただ飲食するだけでなく、勉強することで、ワインの美味しさをより知ることができました。



### ③ 東京池袋ローターアクトクラブ

#### 【1・2月の例会】

1月第2例会「違いを受け入れること～Tips to enjoy life～例会」 開催日：1月21日(日)

2月第1例会「第12回 社会貢献活動見本市及び交流会例会」 開催日：2月3日(土)

2月第2例会「献血例会」 開催日：2月25日(日)

今年で5年目となる献血例会も、参加者12名、献血者10名というご登録をいただき、無事に開催することができました。東京池袋ロータリークラブからは、加古博昭様と吉田秀得様にご参加いただきました。5年目ということもあり、献血経験者が増えたことを喜ばしく思います。この時期は献血が特に必要な時期ということで、2月に開催しています。初めての方にとっては、献血の大切さを知り、今後献血をするきっかけとなっていれば幸いです。懇親会では、東京池袋ロータリークラブの吉田秀得様のご厚意により、「宮城野」にてお蕎麦をご馳走になりました。たいへん美味しく、献血後の最高の栄養補給となりました。吉田様からは、富士喜ビルができる前からの池袋の歴史についてお話を伺うことができました。このようにロータリアンの方とローターアクトクラブのメンバーが交流できる機会は非常に貴重であり、メンバーにとって良い勉強の場になったと実感しています。



おすすめ例会：

日時／4月21日(土)

内容／「豊島区の歴史例会」(会計：山崎帆洋会員による卓話)

登録先／幹事 阪口章吾 ogurogigorugo@gmail.com

### ④ 東京江戸川ローターアクトクラブ

2月度例会「卓話例会」

内容：

最初は新しいメンバーが加わり、自己紹介のスピーチが多かったですが、現在は持ち回りで、各自が興味を持っている分野について卓話を行っております。テーマといたしましては、「ト

トラックは利益をもたらす」、「飛行機について」、「はだしのゲン」の計三回行いました。「トラックは利益をもたらす」では、トラックの種類や部品についての説明、営業用トラックと自家用トラックの見分け方についての卓話でした。「飛行機について」では、東京江戸川ロータリークラブの菅谷様にお越しいただき、飛行機の操縦ルートや飛行機の構造、キャプテンと副操縦士の役割を説明していただきました。「はだしのゲン」では、あるメンバーの名前の由来となった経緯や作品の説明をしていただきました。今後も、同じように卓話を続けていく予定です。

## ⑤ 東京ロータリーアクトクラブ

2 月度例会「ニチレイフーズ卓話例会」

日時：2 月 24 日（土）

内容：

2018 年 2 月 24 日（土）に、東京ロータリークラブの池田泰弘様より、ニチレイフーズの船橋第二工場（冷凍食品工場）をご案内いただき、卓話を頂戴いたしました。原材料の状態から調理が行われ、冷凍された後にパッキングされる、冷凍食品製造の全工程を見学した後、冷凍食品の歴史やマーケティング戦略のお話をお伺いしました。その後の試食会では「プロの炒飯を再現するために調理ラインを自社製作している」など社員の方の冷凍食品への熱い想いを伺い、冷凍食品に対する考え方が 180 度変わる例会となりました。

### ■ 社会奉仕委員会

社会奉仕委員会の活動として、社会奉仕委員長の若宮貴子さんの企画により、1 月 25 日（木）・2 月 23 日（金）にインクルーシブデザインセミナーを受講しました。セミナーには「超高齢化社会に向けた将来の課題を先取りする”リードユーザ”」と呼ばれる障がい者が参加します。リードユーザの日常的行動を観察することで、彼らが抱える潜在ニーズ洗い出し、新たなプロダクトやサービスをデザインしました。リードユーザには素直に様々なことが質問でき、考えが大きく変わるワークショップでした。



おすすめ例会：

3 月度例会

テーマ：東京 RAC 45 周年記念式典

日時：3 月 21 日

場所：学士会館（神保町）

登録先：柏原忠和（lwayticket0114@gmail.com）

## ⑥ 東京ワセダローターアクトクラブ

- 1月第二例会 東京ワセダロータークラブ事務局清掃例会 日時：1月20日（土）  
2月第一例会 IAC 地区合同活動 日時：2月18日（日）  
2月第二例会 テーブルマナー例会 日時：2月25日（日）  
3月第一例会 ラズベリーパイ例会 日時：3月10日（土）

### 2月第二例会「テーブルマナー例会」

日時：2月25日（日）12：00-14：00

会場：リーガロイヤルホテル東京 2F アゼリア

内容：

リーガロイヤルホテル東京の長竿様を講師としてお招きし、テーブルマナー例会を開催しました。当日はフランス料理のフルコースを食べながら、イギリス式のテーブルマナーを学びました。本例会では、学生の会員が4名（内：東京ワセダローターアクトクラブ3名、東京ローターアクトクラブ1名）参加しており、今後、社会人になる上で必要なマナーを身に付けることができました。講習の具体的な内容としては、ナプキンの使い方（口を拭く位置、ナプキンの折り目の向き）、フォークとナイフの使い方、また乾杯の仕方などです。自分が知っていると思っていた知識が間違っていたりすることも多く、大変学びの多い一日となりました。本来であれば、東京ワセダロータークラブの社会奉仕委員会と合同で「あけの星学園」の生徒さんもお招きしてマナー講習を行う予定だったのですが、引率の先生方のスケジュールの関係で本年度は合同で行えませんでした。ぜひ次年度は合同で行いたいです。



おすすめ例会：

3月第二例会「ワセダグリーンハイク」 例会担当：Jaclyn Thompson

日時：3月24日（土） \*雨天中止の場合、当日10時までにご連絡致します。

点鐘：15：40（清掃活動：16：00-17：00まで）

集合場所：東京ワセダロータークラブ事務局

服装：汚れても良い動きやすい服装

持ち物：無し（軍手、トンガ、ゴミ袋等は準備しております）

登録料：500円

## ⑦ 東京板橋セントラルローターアクトクラブ

2月例会「ボーリング例会」

日時：2月12日（月／祝）

内容：

毎年恒例となりました、当ローターアクトクラブのボーリング例会を地元板橋の「東京プラ

ザボウル」にて開催しました。近隣クラブのローターアクターだけでなく、提唱ロータリークラブのロータリアンにもご出席いただきました。2ゲームを行い、良い汗をかくことができました。優勝者には地元の銘菓「お伝え最中」を贈呈しました。小倉、白ごま、あんず、さくら、抹茶の餡が入っており、それぞれに物語があります。



## ⑧ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

2月例会「生ライブを見に行こう」

日時：2月21日(水)

内容：

2月21日(水)の例会では、会長三浦慎太郎による「生ライブを見に行こう！例会」が開催されました。例会中は、ライブの動画などを観ながら、好きなアーティストや曲について参加者全員でお話しを弾ませました。他にもオススのライブ会場など、ライブ通の三浦さんならではの耳寄り情報を紹介していただきました。例会後はみなさん揃ってライブに行きたい！とお話している姿が印象的でした。

そしてなんとこの日は三浦会長の誕生日！クラブ会員からネクタイと本のプレゼントが贈られました。



### ローターアクトクラブ例会へのお誘い

各ローターアクトクラブから「今後の活動予定」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。



### 東京と気仙沼のローターアクト有志による

#### 「気仙沼仕事創出プロジェクト」からのレポート

2月24日、「気仙沼フードマイスター講座」第5期にて気仙沼の東陵高校生が考案しました「さんまくんのクリームパイ」、「なまり節春巻き」、「なまり節井」をブラッシュアップしました。それぞれ、「さんまくんポテトパイ」、「なまり節を使った白菜とたけのこの春巻き」、「なまり節を使ったそばろ三色井」となりました。

#### 4. 青少年交換の活動（ご報告と予定）

##### ① 地区大会

2月20日（火）～21日（水）、京王プラザホテル（東京都新宿区）にて国際ロータリー第2580地区、地区大会が開催されました。ホワイエの一角にテーブルを設置し、ROTEXが中心になり、地区大会参加者に向けてポロシャツ等の販売を行いました。派遣予定学生と来日学生も販売のお手伝いをしました。結果は、見事、完売。お疲れさまでした。売り上げは、ROTEXが活動資金として活用します。

no picture

##### ② フィールドトリップ

2月のフィールドトリップは、2月11日（日）、新宿区大久保の会議室を借りて開催されました。参加人数は、派遣予定学生6名、来日学生5名の11名でした。活動の内容としては、ジャパンツアーに向けての懇親会と平和ディスカッションについて打ち合わせました。茶話会の雰囲気の中で、来日学生が普段思う「日本のなぜ？」を参加者に共有してもらい、「なぜ日本はそうなのか」を来日学生と派遣予定学生が一緒になって考えました。

no picture

一例をあげますと、「なぜ日本のニュースでは、パワーポイントではなくフリップを使うの？」というものがありました。派遣予定学生としては、日本人ではなかなか気付かない「日本ならではの」「発見」ができたようです。

##### ③ 茶道稽古

第54期派遣予定学生と2017-18年度来日学生を対象とした茶道稽古（裏千家今日庵（東京都新宿区））についてご報告します。

1月27日（土）出席者17名（派遣予定学生8名、来日学生9名）

2月3日（土）出席者15名（派遣予定学生8名、来日学生7名）

2月10日（土）出席者16名（派遣予定学生7名、来日学生9名）

3月3日（土）出席者18名（派遣予定学生9名、来日学生9名）

#### ④ 今後の予定

3月25日(日)から4月2日(月)にかけて、日本の文化、自然、歴史を学ぶことを目的に、派遣予定学生と来日学生がジャパンツアーに参加します。今回は、奈良、京都、鳥取、島根、広島、岡山、大阪、名古屋を巡る予定です。広島では、平和記念資料館(原爆資料館)を見学の後、平和ディスカッションを行います。

#### 4月8日(日曜日)、在京/地区青少年奉仕包括成果発表会へのお誘い

4月8日(日曜日)、13時から、新宿にて、地区青少年奉仕包括成果発表会/第6回を開催します。インターアクト・ローターアクト・青少年交換が成果発表を行うとともに、各クラブの会長、青少年奉仕担当委員長にお越しいただき、インターアクト・ローターアクト・青少年交換との交流、コミュニケーションの機会とします。本年度は、米山奨学生の参加とともに、職場体験・インターンシップ、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の発表もございます。

クラブ宛てにご案内を差し上げましたので、ぜひご参加よろしくお願ひします。

#### 「青少年奉仕情報」第28号発行にあたって

いつも青少年奉仕情報をお読みいただき誠に有難うございます。隔月発行のこの情報誌も定着され、多くのロータリアンの中で青少年奉仕活動が共有されていることをたいへん嬉しく思います。

さて本号の特集では、「青少年奉仕アンケート」、「職場体験・インターンシップ」を取り上げさせていただいております。このアンケートを見ますと青少年奉仕活動に対する関心が高まっていることが読み取れますが、一方ではクラブ内での情報共有が上手く行われてないのではと思われる節もございます。これは職場体験・インターンシップに関してその傾向が顕著に表れており、この問題について今一度、特集ページをお読みいただければと思います。全般的に言えることは、関わっている会員が一人で頑張ってしまう、その素晴らしい活動がクラブ内に伝わってない傾向がありとてももったいないことです。該当されるクラブにおかれましては、是非このアンケート、この情報誌をご参考に取り組んでいただければ幸いです。

本年度も残り約3ヵ月となりましたが、引き続き温かいご支援、ご指導を宜しくお願ひ申し上げます。

地区青少年奉仕委員長 大西太一郎(東京紀尾井町ロータリークラブ)

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告(写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です)、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ/掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会(担当;茂木)まで [mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp](mailto:mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp)